

1 単元 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう 『鳥獣戯画』を読む

2 指導観

- 本学級の子どもたちは、これまで「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」など、主張と事例の関係を押さえ文章を書いた目的を考えたり、筆者の主張を捉え、自分の考えをもちながら読んだりする活動を行ってきている。そこで、筆者の表現に着目し図版と文章を対応させながら読むことができるこの期に本単元を取り上げる。そして、事実と感想、意見などの関係をおさえ、筆者の見方・考え方を捉えて自分の考えを明確にしながら読むことができるようにする。このことは、3学期の「自然に学ぶ暮らし」での筆者が述べていることについて、自分の体験や考えと比べながら読む学習へとつながっていく上でも意義深い。
- 本教材は、「漫画の祖」と言われる国宝の絵巻物『鳥獣人物戯画』の一場面を取り上げて解説した説明文であり、漫画を読むことが多い児童たちにとっては大変親しみやすく興味・関心をもって読み進めることができる教材である。また筆者である高畑勲は、書き出しや文末の工夫をしたり、一枚の絵をあえて切り離して提示したりすることで、自分のものの見方を読者にも分かりやすく伝わるようにしているため、筆者のものの見方や考え方を読み取ったり、感じたことを表す表現の効果や構成の工夫について学習するのに適している。
- 本単元の指導にあたっては、絵と文章を対応させながら効果的に読み進め、筆者のものの見方や考え方を捉え自分の考えをまとめる言語活動を取り入れていく。また、筆者の見方や考え方を生かして、鳥獣戯画の別の場面に於いて、自分の見方や考え方を活用し物語を書く活動を取り入れていく。そのために、つかむ段階では、「鳥獣戯画」の一場面を見せ、自分なりに気付いたことや考えたことを交流させ、絵の見方には人それぞれ共通点や相違点があることに気付かせる。次に、ふかめる段階では、絵と文章を対応させながら、筆者がどの部分に着目し、どのような言葉で評価しているかを読み取らせる活動を通して、筆者のものの見方や考え方を捉えさせる。また、筆者のものの見方を伝える工夫についても気付かせていく。最後にいかす段階では、本単元で身に付けたものの見方や考え方、書き出しの工夫などを使って、鳥獣戯画の別の場面の評価を書き交流することで、自分のものの見方や考え方の広がりを実感することができるようにする。

3 目標

- 絵巻物などに興味をもち、進んで文章を読もうとする態度を育てる。
- 筆者の表現や構成の工夫に着目し、その意図を考えるとともに、自分の考えを広げたり、深めたりしながら読むことができるようにする。
- 文末表現や助詞の使い方など、語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解することができる。

4 本単元の学習活動（6時間）

- 1 「鳥獣戯画を読む」を読み感想を交流し、学習課題をつかむ。————— 1
- 2 絵と文章を対応させながら読み、筆者のものの見方や考え方、表現の工夫についてまとめ、絵や絵巻物に対する筆者の評価に対して自分の感想をまとめる。————— 4
 - (1) 全体の文章構成を確認し、段落通しのつながりを確認する。 ①
 - (2) 筆者の主張「人類の宝」に対する根拠を考える ①本時
 - (3) 筆者の主張を納得させるための工夫を絵と文章を対応させながら考える ②
- 3 自分のものの見方や考え方や、表現を工夫して絵巻物を「読む」————— 1

5 本時 平成30年10月10日（水）第2校時 於6年1組教室

6 主眼

- 筆者が『鳥獣戯画』に対して「人類の宝」とまで述べている根拠を、歴史的価値・作品の素晴らしさ・祖先への敬意の3つの視点でまとめ、筆者の鳥獣戯画に対する評価を読み取ることができるようにする。

7 本時の学習活動（3／6）

段階	学 習 活 動	具体的な手立て ※評価						
説明	<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>筆者は、なぜ、『鳥獣戯画』を「人類の宝」とまで述べているのか考えよう。</p>	<p>【予習】</p> <p>『鳥獣戯画』が人類の宝と述べている筆者の考えに線を引き、その根拠を書く。</p>						
理解確認	<p>○ 筆者の主張を確認し、「国宝」と「人類の宝」の違いを説明する。</p> <p>2 予習を確認し、「人類の宝」と述べる筆者の主張を3つの視点に分けて整理する。</p> <table border="1" data-bbox="304 817 968 1149"> <thead> <tr> <th>歴史的価値</th> <th>作品の価値</th> <th>祖先たち努力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・850年も前から、上手な絵と言葉で長い物語を実に生き生きと語っている。 ・大昔からまるで漫画やアニメのような、こんなに楽しくとびきりモダンな絵巻物が生み出されたとは、なんとすてきで驚くべき事だろう。</td> <td>・世界を見渡してみても、これほど自由闊達なものほどこにもない。 ・墨一色、その気品。 ・実にすばらしい。</td> <td>・幾多の変転や火災のたびに救いだし、この絵巻物を大切に保存し、私たちに伝えてくれた。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">⇓ ⇓ ⇓</p> <p>だから・・・国宝であるだけでなく、「人類の宝」</p>	歴史的価値	作品の価値	祖先たち努力	・850年も前から、上手な絵と言葉で長い物語を実に生き生きと語っている。 ・大昔からまるで漫画やアニメのような、こんなに楽しくとびきりモダンな絵巻物が生み出されたとは、なんとすてきで驚くべき事だろう。	・世界を見渡してみても、これほど自由闊達なものほどこにもない。 ・墨一色、その気品。 ・実にすばらしい。	・幾多の変転や火災のたびに救いだし、この絵巻物を大切に保存し、私たちに伝えてくれた。	<p>【困難度査定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界的な価値や祖先の努力まで目を向けることができない児童がいると予想される。 ○ 人類の宝としての根拠を視覚的にわかりやすく捉えさせるために、「歴史」「世界」「祖先」の3つの観点を提示し、表にまとめる。
歴史的価値	作品の価値	祖先たち努力						
・850年も前から、上手な絵と言葉で長い物語を実に生き生きと語っている。 ・大昔からまるで漫画やアニメのような、こんなに楽しくとびきりモダンな絵巻物が生み出されたとは、なんとすてきで驚くべき事だろう。	・世界を見渡してみても、これほど自由闊達なものほどこにもない。 ・墨一色、その気品。 ・実にすばらしい。	・幾多の変転や火災のたびに救いだし、この絵巻物を大切に保存し、私たちに伝えてくれた。						
理解深化	<p>3 ⑧段落は何のためにあるのかを考え、⑧段落の役割について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸～今の時代までの日本の文化を紹介することで、言葉だけでなく絵の力を使って物語を語ることが、今まで続いていること、そしてその文化は鳥獣戯画がもとになっていることを伝えるため。 <p>鳥獣戯画には、作品としての素晴らしさ、歴史的価値、そしてそれを守り続けてきた祖先の素晴らしさがあるので、「人類の宝」とまで筆者は述べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ⑧段落の役目を分かりやすくするために、⑧段落に紹介されている鳥獣戯画以外の作品を紹介し、全ての祖は鳥獣戯画であることが視覚的に分かるようにする。 ※ 鳥獣戯画は、「現代の漫画やアニメといった文化の祖となっていること。」「そしてそれを守り続けてきた人々がいること。」だから人類の宝であるという筆者の主張を読み取ることができる。 						
自己評価	<p>4 本時学習を振り返り、次時の学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を振り返る。 <p>・なぜ「人類の宝」とまで筆者が述べているのかが分かった。 ・日本の文化を守り続けてきた人々はすごいと思っし、自分も日本の文化を守り続けたいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の課題を確認する。 ・筆者の主張を、より納得させるための工夫を見つけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の工夫を見つけやすくするために、「表現」「構成」の2つの視点を提示する。 						